

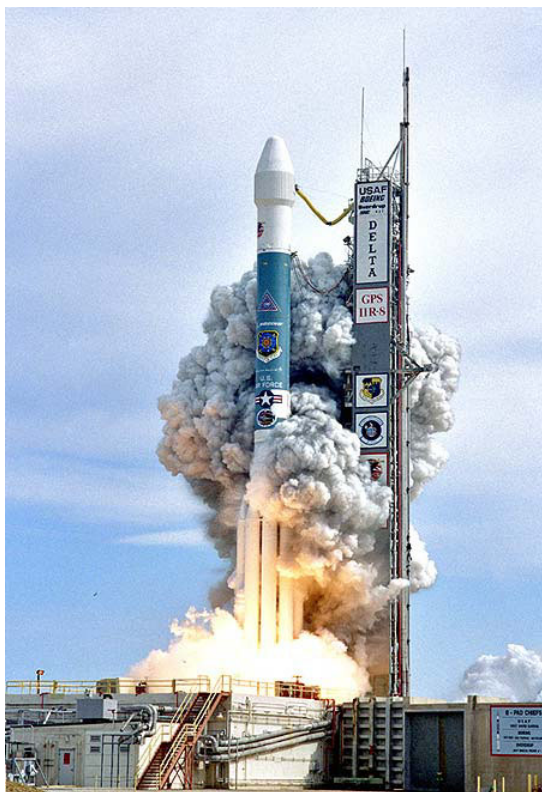
## World News

### ロケット関連ニュース

#### 1. Boeing デルタ II ロケット、2機の 米空軍衛星打ち上げに成功

Boeing Delta ロケットは1月29日、2機の空軍衛星打ち上げに成功した。

空軍のGPSに対するGPS IIR-8衛星、および空軍研究所のXSS-10デモンストレーション衛星は、デルタII 7925-9.5ロケットで打ち上げられた。



デルタII 7925-9.5ロケット Boeing 提供

ロケットは、午後1時06分にケープカナベラル空軍ロケット射場の17B打ち上げ台から発射され、打上げは成功した。オペレーション砂漠の嵐においてその最初の軍が使用して以来、GPSは戦時にその需要が増

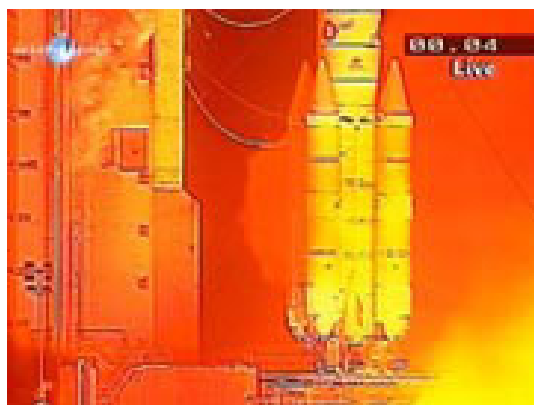
大しました。そのシステムは合衆国空軍スペースコマンドにより運用されています。XSS-10は、デルタII第2段目の目視検査を実施すると共に、マイクロサット衛星の様々な機能をテストするデモンストレーション衛星です。

空軍研究所は未来の衛星開発のためにそのデータを取得する予定です。次のデルタ打上げは、デルタIV中型ロケットで防衛衛星通信システム(DSCS)III A3を打上げる予定である。

- Boeing 2003.1.29 プレスリリース記事 -

#### 2. 最後のAriane4でIntelsat 904号機の 打ち上げに成功

ArianespaceのAriane 4は、2月15日、最後のミッションになるインテルサット907衛星を、正確な地球静止転送軌道(GTO)に打ち上げる事に成功し、Ariane4のミッションは終了しました。



Ariane 4 159号ロケット Ariane 提供

最終のAriane4打ち上げはAriane4の116回目の打ち上げとなります。打ち上げサービス開始の1988年から数え158機の衛星の打ち上げを成功させ、また余剰ペイロードで24機のマイクロサットを成功させ

ました。累積打ち上げペイロード総重量は400tになります。 打上げ基地上空の強風の影響で3日の延期後、歴史的なミッションは 現地時間の午前4時00分に打上げられました。 打ち上げ約2分30秒後に4本の一段目ブースターの分離に成功しました。



Intelsat 907 衛星 SS/L 提供

Arianespace 最高経営責任者 Jean-Yves Le Gall 氏は、「Ariane 4 プログラムは、並みはずれた技術業績、および本当に素晴らしい人類の冒険的事業でした」と言いました。「私は、ヨーロッパとフランス領 Guiana の CNES、ESA、Arianespace 及び関係した産業会の参加者において、チームメンバーのすべてに個人的に感謝したい。」フライト 159 は Arianespace の 2003 年の最初のミッションであり、今年は続いてさらに大型の Ariane 5 の打ち上げを4回から5回予定しています。 Le Gall 氏は、また今年最初の衛星打ち上げ契約は WildBlue 1 ブロードバンド通信衛星であると発表しました。 WildBlue 1 は、商用高速インターネットサービスのための最初の Ka-バンド専用衛星のうちの1つであり、Ariane 5 で2005年に打ち上げを予定しています。今朝のミッションは、Ariane 4 により打ち上げら

れた6番目のインテルサット IX-シリーズ衛星で Ariane により軌道に乗せられた23番目のインテルサット通信衛星になる。フライト 159 は、Ariane 4 の74番目の連続成功となりました。

- Ariane 2003.2.15 プレリリース記事 -

## 衛星関連ニュース

### 1. Astrium ANIK F1R 衛星受注

Astrium 社は Telesat Canada 社と2月5日 ANIK F1R 衛星の設計、製造の契約をした。2005年の中頃にサービスを開始する計画である ANIK F1R は、西経 107.3 度の静止軌道に配置され、北米大陸を C-Band 及び Ku-Band でカバーする衛星通信サービスを提供する。Astrium は、ANIK F1R の主契約者として、衛星を設計、製造し、ペイロードと衛星プラットフォームの両方を供給する。カナダの企業は衛星搭載装置の重要な部品を供給する。

衛星は、電話、ビジネス通信、インターネットベースのサービス、およびテレビ送信を含む固定衛星通信サービスの全てを提供し、Ku-バンド 32 本のトランスポンダと C-バンド 24 本のトランスポンダを搭載する。衛星打ち上げ時の重量は4トンで太陽電池間の長さは35m、発電能力は寿命末期で10KW、寿命15年である。ANIK F1R は、Eurostar E3000 バスを採用している。Eurostar 衛星は33機を受注し、その内の22機はすでに打ち上げられ運用中で高い信頼性を提供している。ASTRIUM 社は、EADS 社が100%所有する会社で、従業員数は2001年に8400名、売上は19億ユーロである。

ANIK F1R 主要性能:  
衛星バス: E3000S 衛星主構体寸法:  
高さ;4.8m 長さ;2.4m 幅;2.9m 太陽電池パネル展開時の長さ:35m 打上げ時重量:4 トン 発電能力: EOL; 10kW 寿命:15 年+ 通信ペイロード:C バンド 24 本のトランスポンダ+Ku-バンド 32 本トランスポンダ ペイロードパワー: 8kW+ アンテナ:2.4m 直径の展開反射鏡x2面 チャンネルバンド幅: C バンド 36 MHz Ku-バンド 27 MHz

- Astrium 2003.2.5 プレスリリース記事 -

衛星打上げ重量は 4.トンで西経 109.2 度の静止軌道からサービスを行う。

衛星サービス寿命は 12 年以上、衛星バスは SS/L 1300 バス、bipropellant 推進系とバイアスモーメントシステムを使って高精度の衛星姿勢保持が可能である。

SS/L 2003.3.13 プレスリリース記事

## 2. 世界で最初の KA-バンド商用通信衛星

### 「WILDBLUE-1」の構築を再開

スペースシステムズロラール社(SS/L)は WildBlue Communications, Inc 社(Denver 本社)の世界で最初の Ka-バンドマルチスポットビーム・ブロードバンド商用通信衛星「WildBlue-1」の構築を再開すると発表した。WildBlue は最近、INTELSAT、Liberty Satellite & Technology, Inc, National Rural Telecommunications Corporative(NRTC)、Kleiner Perkins Caufield & Byers、および David Drucker が、WildBlue に、2004 年に通信サービスを開始する為に WildBlue-1 衛星構築に\$156Mの投資をする事に同意したと発表した。WildBlue-1 衛星は、小型のパラボラアンテナを用いた双方向無線インターネットアクセスを一般及び中小企業向けに提供する事を考えている。衛星は Ariane 5 で打上げを予定している。

WildBlue-1 衛星の概要は、サービス開始時の発電能力は 10kW で北米を Ka-バンドの 41 マルチビームによってカバーする。衛星には、8 つの追跡アンテナで合衆国の必要な地点へのビームを提供する。